

令和 6 年度

横浜市立大学「実験動物飼養施設」現地調査 報告書

調査対象施設： 八景キャンパス 飼養保管施設 1 箇所 動物飼育舎

調 査 日 時： 令和 7 年 2 月 5 日(水曜日) 13：30～14：30

調 査 員： 2 名（福浦 C 委員 1 名、鶴見 C 委員 1 名）

調査員総評： 全体的によく管理されている。

前回の調査でも懸案事項となっていた湿度管理については、加湿・除湿の両面で飼育室ごとに対応しているが、特に夏季における除湿対策については再検討の余地がある。

調査項目： 評価： ○：良い、△：改善を要す、×：大幅な改善要す、禁：使用禁止

番号	項 目	評価
1	空調機・窓の封鎖によって、飼育室の温度・湿度が適切に制御されている	△
2	適切な照明に、明暗時間が制御されている	○
3	適切な飼育ラック、飼育ケージを使用している	○
4	ケージ当たりの飼育頭数が適切である	○
5	床、内壁等がエタノール等による消毒が可能な構造である	○
6	飼育器具の洗浄、消毒が可能な設備を有し、適切に飼養されている	○
7	専用作業衣、清掃道具、消毒薬が常備されている	○
8	実験動物が逸走しない構造及び強度を有している	○
9	飼育室あるいは飼育ラックに臭気対策が講じられている	○
10	動物死体を一定期間保管するための冷凍庫が設置されている	○
11	廃棄物を一定期間保管するための専用容器が備えられている	○
12	飼養保管マニュアル、災害対策マニュアル、緊急連絡網が策定されている	○
13	使用動物の微生物検査を実施し、結果を保存している	○
14	入手先、飼育履歴、病歴等に関する書類（年間使用数の根拠資料）が保存されている	○
15	飼養施設の作業記録が保存されている	○